

平成19年1月

# 佐々木くみ子 学位論文審査要旨

主 査 神 崎 晋  
副主査 佐 藤 建 三  
同 渡 邊 達 生

## 主論文

Are transcription factors NF- $\kappa$ B and AP-1 involved in the ANG II-stimulated production of proinflammatory cytokines induced by LPS in dehydrated rats?

(脱水ラットのLPSによる炎症性サイトカインの産生をアンギオテンシンIIが刺激する機序に転写因子のNF- $\kappa$ BとAP-1は関与するか)

(著者：佐々木くみ子、谷口真、三好美智夫、後藤理、佐藤建三、渡邊達生)

平成17年12月 American Journal of Physiology Regulatory, Integrative, and Comparative Physiology 289巻 1599頁～1608頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、LPSによる脱水ラットの脾臓のIL-1 $\beta$ 濃度変動と、肝臓及び脾臓の転写因子の活性化に及ぼすACE阻害薬とAT<sub>1</sub>受容体拮抗薬の効果について検討したものである。その結果、これらの薬剤はLPSによる脾臓のIL-1 $\beta$ 濃度上昇を抑制するが、肝臓あるいは脾臓のNF- $\kappa$ BとAP-1の活性化を亢進させることが判明した。本論文の内容は、内因性のANG IIとAT<sub>1</sub>受容体がLPSによる脱水ラットの肝臓と脾臓の転写因子の活性化を抑制する可能性を示すとともに、ANG IIがLPSによるサイトカイン産生を刺激する機序にこれらの転写因子の活性化が関与しないことを示唆したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。